

学会賞受賞の紹介

2018 年度 日本フードシステム学会学会誌賞

受賞タイトル：論文「高齢女性の食料品アクセスが食生活と健康におよぼす影響の分析
－地方都市中心市街地における食料品スーパー開店後の住民調査より－」

受賞者：大橋めぐみ（農業・農村領域 主任研究官）・高橋克也（食料・環境領域 上席主任研究官）・菊島良介（食料・環境領域 研究員）・山口美輪（医薬基盤・健康・栄養研究所）・薬師寺哲郎（中村学園大学）



大橋めぐみ主任研究官らが、論文「高齢女性の食料品アクセスが食生活と健康におよぼす影響の分析－地方都市中心市街地における食料品スーパー開店後の住民調査より－」により、日本フードシステム学会学会誌賞を受賞

しました。この賞は、特に優れた論文を執筆した者に与えられる賞です。

本研究では、福島県白河市の住民調査から共分散構造分析を行い、同市の高齢女性は、店舗からの距離が近いほど徒歩で買い物に行く傾向があり、徒歩で買い物に行くことが買い物頻度の上昇に、買い物頻度の上昇が食品の多様性得点の上昇および腹囲身長比の減少に有意に影響を与えていることを示しました。

本論文はフードシステム研究の発展に寄与するところ誠に顕著であるとして、2018（平成30）年6月16日に、著者らに対して学会誌賞が授与されました。

2018 年度 日本農業経済学会学会誌賞

受賞タイトル：論文「農産物直売所の空間的競争」

受賞者：菊島良介（食料・環境領域 研究員）



菊島良介研究員が論文「農産物直売所の空間的競争」により、日本農業経済学会学会誌賞を受賞しました。この賞は、特に優れた論文を執筆した者に与えられる賞です。

本研究は、農産物直売所の空間的競争状態を定

量的に明らかにするため、千葉県全域の直売所を対象に、以下の分析を行いました。①空間計量経済学の観点から、立地の集中傾向とその規定要因・競争範囲の明示、②産業組織論の観点から、競争の程度・地域差の所在の顕示、地理情報システム（GIS）に

よるそれらの可視化、③競争が直売所に与える影響の評価です。

本研究により、現状では半径12kmの範囲で集中していますが、この範囲における競争は互いの販売額に影響を与えていないことが示されました。この範囲であれば、消費者が車で複数の直売所を買い回ることも可能であり、先行研究で危惧されるような過度の競争は現時点では認められず、外部経済効果に導かれて集積していることが示唆されました。

本論文は「学会の研究水準を高める特に顕著な研究業績」として認められ、2018（平成30）年5月26日に、本論文の著者に対して学会誌賞が授与されました。